

試験結果報告書

脳波測定試験

平成 16 年 4 月 6 日

Synn World株式会社 殿

遠 赤 外 線 応 用 研 究 会

ご依頼頂きました表題の件につきましてご報告申し上げます

記

報告書 No.204E- 166

本件についてのお問い合わせは、下記にご連絡下さい。

〒542-0081
大阪市中央区南船場4-9-11 順横ビル3F

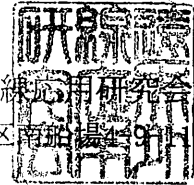
遠 赤 外 線 応 用 研 究 会
TEL 06-6251-7619
f-info@softenergy1.com

試験結果報告書

No. 204E-166

平成16年4月6日

Synn World株式会社 殿



遠赤外線応用研究所

〒542-0081 大阪市中央区南船場4-9-11

試験試料 コンセント

測定機器 生体信号処理装置 フットテクノ製 ALPHA MASTER

測定

健常な成年男子(49才)を被験者とし、長椅子に腰掛けた状態で10分間安静状態を保った後、通話状態にした携帯電話を使用して、2分間の脳波の変化を測定した。さらに10分間休憩の後、通話状態にした携帯電話をコンセントに繋ぎ、同様に2分間の脳波の変化を測定した。

国際脳波学会用語委員会により、定められた脳波の各周波数は次の如くである。

- θ波：4Hz以上8Hz以下のもの
- α波：8Hz以上で13Hz以下のもの
- β波：13Hzより高いもの

結果

測定した脳波スペクトル変化を別グラフに示す。

2試料時のα、β、θ波の出現の変化を見ると、コンセント未使用時ではα波14.2%、β波65.8%、θ波20.0%である。コンセント使用時の場合はα波46.7%、β波48.3%、θ波5.0%であった。従ってコンセント使用時の方が、α波が32.5%増加している。

コンセントを使用することでリラックス状態を示すα波が増加していることから、いやしの効果があるといえる。

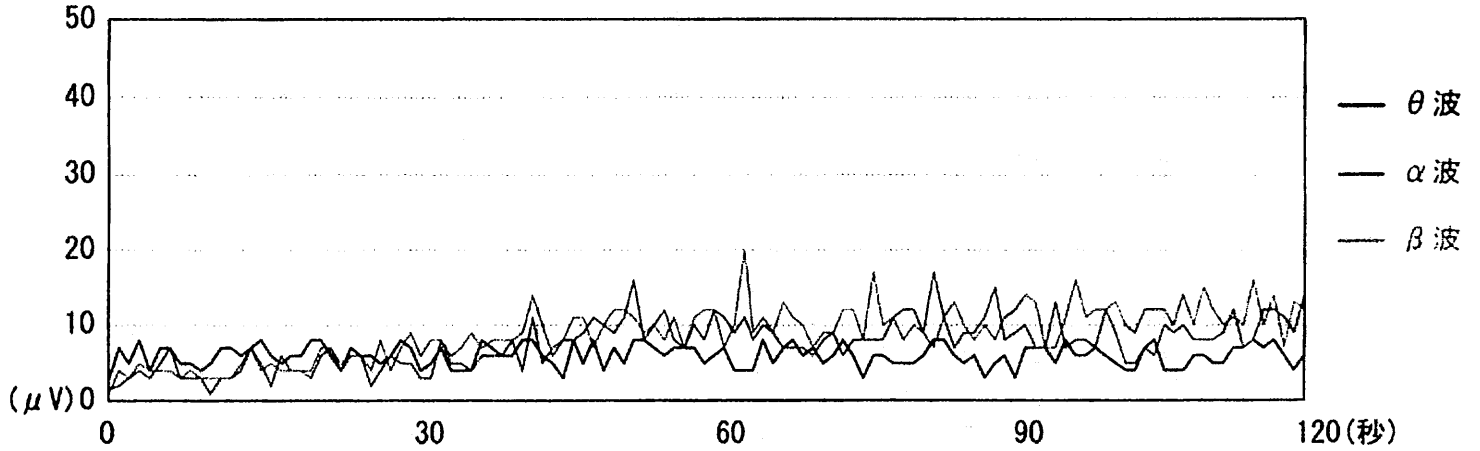
以上

<脳波測定結果>

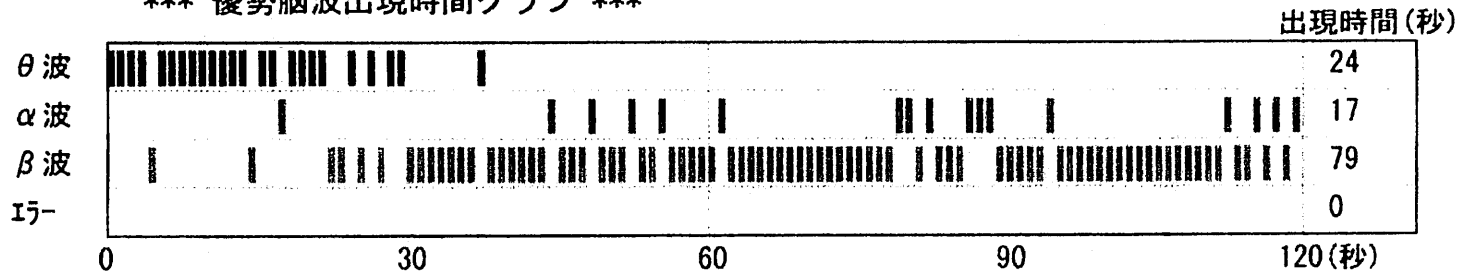
コンセント未使用時

測定日: 2004/04/05 測定時間: 17:24:01

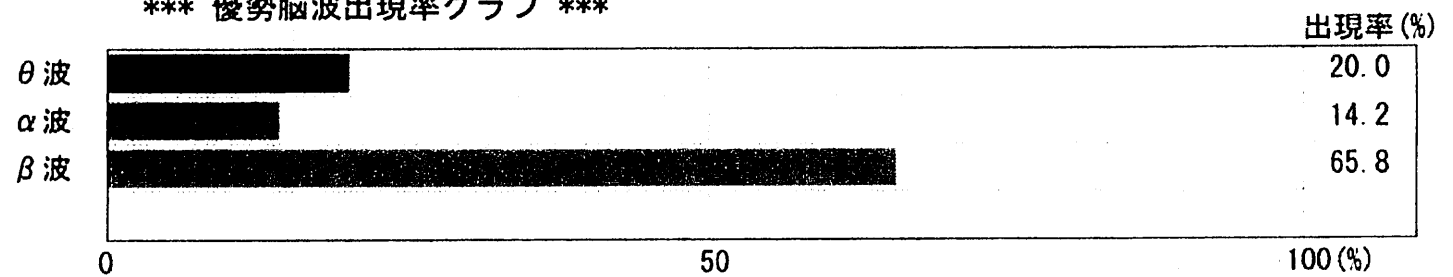
*** 脳波推移グラフ ***



*** 優勢脳波出現時間グラフ ***

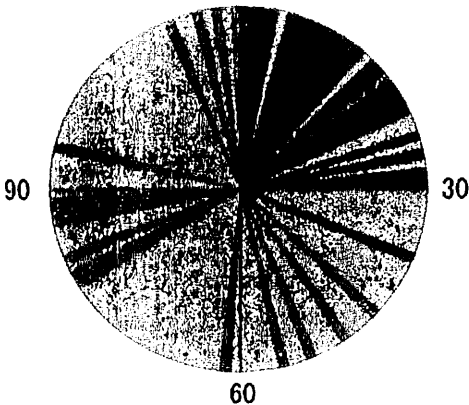


*** 優勢脳波出現率グラフ ***

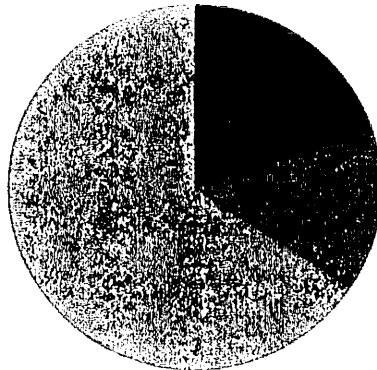


** 優勢脳波出現時間 **

120/0



** 優勢脳波出現率 **



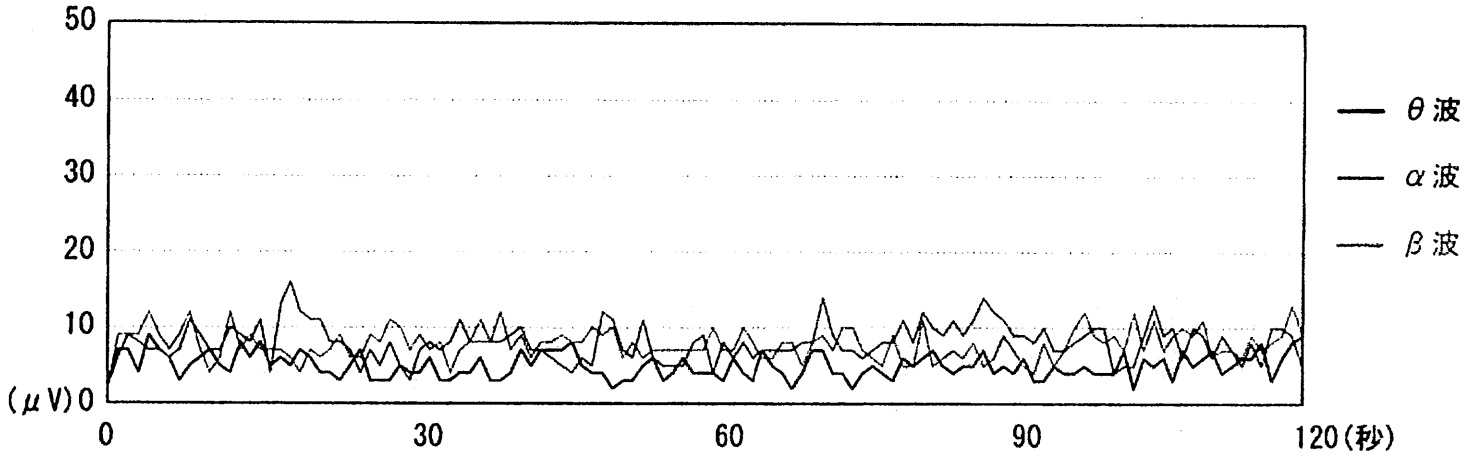
	出現率 %	MAX (μV)	平均 (μV)
■ θ波	20.0	11.0	6.0
■ α波	14.2	17.0	7.6
■ β波	65.8	20.0	8.9
■ イー-	0.0		

<脳波測定結果>

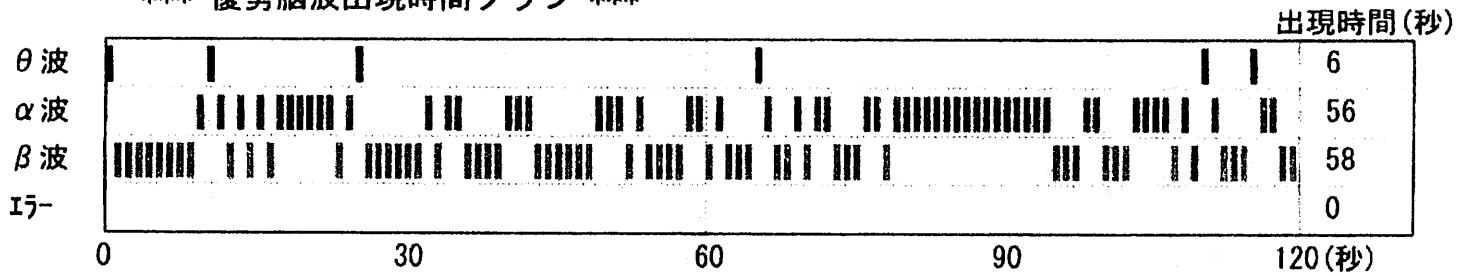
コンセント使用時

測定日:2004/04/05 測定時間:17:37:46

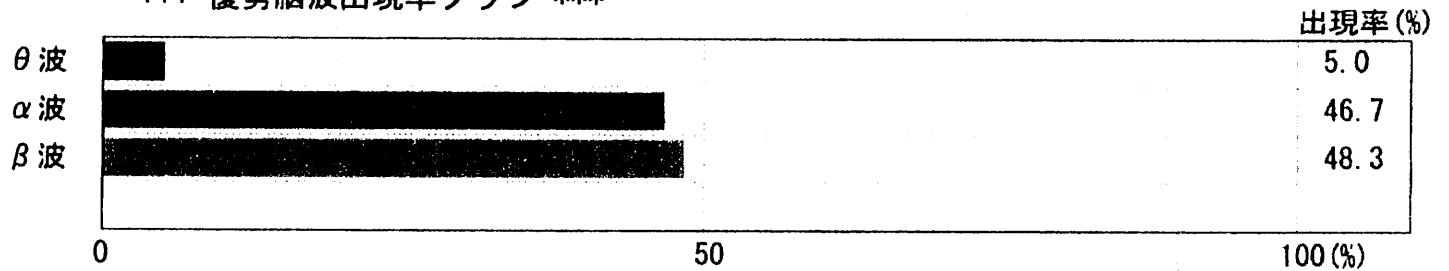
*** 脳波推移グラフ ***



*** 優勢脳波出現時間グラフ ***

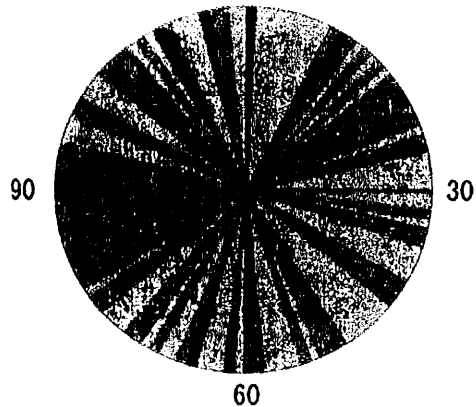


*** 優勢脳波出現率グラフ ***

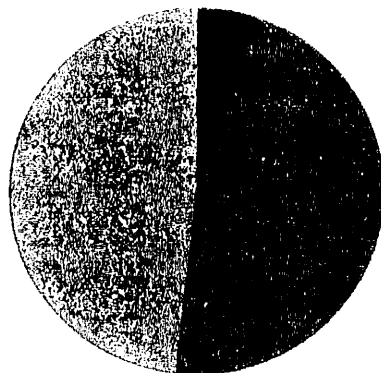


** 優勢脳波出現時間 **

120/0



** 優勢脳波出現率 **



	出現率 %	MAX (μV)	平均 (μV)
■ θ波	5.0	12.0	5.0
■ α波	46.7	16.0	8.1
■ β波	48.3	13.0	7.8
■ イラ-	0.0		